

読売広論セミナー申し込み用紙

FAX 06-6361-8606

お勤め先		ご請求書送付 希望する ☐
お勤め先ご住所	〒	
日中連絡のとれるお電話番号		
ふりがな		
お申し込み者名		
ご所属先・お役職		
E-mailアドレス	@	
上記と異なる場合の ご請求書の宛先名		
振り込み名義人が異なる場合は 「お振り込み名義人名」を ご記入ください		

※お送りいただいた個人情報は、読売新聞グループ関連イベントの情報提供のため、共同利用させていただきます場合がございます。

※振り込み手数料はお客様負担にてお願いいたします。

※受講者様の事情によるキャンセル、ご返金はお受けかねます。
代理の方が出席くださいますようお願いいたします。

※天災その他の不可抗力や講師の事情などにより開催を中止させていただく場合がございます。
その場合、電話、電子メール、ウェブサイトなどで告知を行います。



読売広論セミナー

Yomiuri Koron Seminar



2023年度



主催 一般社団法人 読売調査研究機構
後援 読売新聞社

読売広論セミナー

読売広論セミナーは、会員制の交流組織です。2019年度にスタートし、企業経営者や幹部、大学関係者ら100～200人の皆様にご参加いただきました。

23年度は、政治、経済、スポーツなど、各界の第一人者に最新の知見をご披露いただきます。決定済みの講演予定者を紹介します。

これまでに登壇いただいた講師陣

※肩書きは講演当時

2022年度

中島 淳一氏 (金融庁長官)
高市 早苗氏 (自民党政務調査会長)
羽生 善治氏 (将棋棋士)
都倉 俊一氏 (文化庁長官)
藪中 三十二氏 (元外務次官)
白川 方明氏 (前日本銀行総裁)

2021年度

原 晋 氏 (青山学院大陸上競技部長距離ブロック監督)
水口 貴文氏 (スターバックスコーヒージャパン最高経営責任者)
江上 剛 氏 (作家)
若宮 健嗣氏 (万博担当相)
浅川 智恵子氏 (日本科学未来館館長 IBMフェロー)

申し込み方法

ウェブサイトかファクスのいずれかでお申し込みください。会費のお振り込み先などを記したご案内をお送りいたします。法人様でご請求書などが必要な場合は、その旨をお知らせください。QRコードからもお申し込みできます。

【年会費】

5万5000円 (お一人様、消費税込)

【お申し込み方法】

ウェブ：<https://yomiuri-kiko.or.jp/osaka/>

ファクス：06-6361-8606 (別紙専用用紙でお申し込みください)

【お問い合わせ】

広論セミナー事務局

電話：06-6366-1527 (平日午前10時～午後5時)

メール：o-koron@yomiuri.com



充実の講師陣



4月18日 (火)

NTTチーフ・サイバーセキュリティ・ストラテジスト 松原実穂子氏

テーマ 経済安全保障と企業のサイバーセキュリティ

早稲田大を卒業後、防衛省で勤務。米国留学を経て、日立システムズ、インテルなどで勤務した。NTTに移り、サイバーセキュリティに関する情報発信と提言に努める。著書に「サイバーセキュリティ 組織を脅威から守る戦略・人材・インテリジェンス」(新潮社、大川出版賞受賞)。緊迫する国際情勢を受け、日本でもサイバー攻撃の脅威が増している。工場の操業停止や、顧客情報の流出など深刻な被害を受けた企業も少なくない。講演はサイバー危機への認識を深め、必要な対策を考える絶好の機会となる。



6月7日 (水)

スカイドライブ最高戦略責任者 (CSO) 村井 宏行氏

テーマ 空の移動革命への挑戦~日本発空飛ぶクルマと物流ドローンの開発

2000年、大阪大学経済学部卒業。NTTデータ、ソニー、リクルート、調査会社マクロミル執行役員を経てスカイドライブ入社。各会社で、事業開発・事業経営・M&Aやスタートアップ投資の仕事に携わる。リクルート在籍中には、ASEANで複数の事業子会社を設立・経営。帰国後、リクルートのスタートアップ投資ファンドの代表を務めた。2022年2月からスカイドライブ最高戦略責任者 (CSO)に就任。46歳。



7月10日 (月)

エムスクエア・ラボ社長 加藤 百合子氏

テーマ 日本の農業開く デジタルの力

千葉県出身。東京大と英クランフィールド大で農業ロボットを研究。NASAの植物工場プロジェクトに参画した後、キヤノン勤務などを経て、2009年に農業シンクタンク「エムスクエア・ラボ」(静岡県)を創業した。地域の生産者と利用者をつなぐ共同配送物流システム「やさいパス」など、デジタル技術を活用した農業振興の取り組みが注目を集めている。政府のデジタル田園都市国家構想実現会議委員も務める。



10月16日(月)

柔道家 井上 康生氏

テーマ 勝利をつかむ最強かつ最高の組織づくり

宮城県出身。2000年シドニー五輪100キロ級で全5試合に一本勝ちし、金メダルを獲得した。08年に現役引退。金メダルゼロに終わった12年のロンドン五輪後、全日本男子監督に就任すると、16年リオ五輪で全7階級のメダルを獲得、21年東京五輪では過去最多の5個の金メダル獲得に導いた。外国人選手の試合映像を分析するシステムの導入などでチーム力の強化を図り、柔道ニッポンの復活を果たした。現在は全日本柔道連盟強化委員会副委員長、日本オリンピック委員会 (JOC) の24年パリ五輪対策プロジェクトリーダーなどを務める。



11月14日 (火)

前駐米大使 杉山 晋輔氏

テーマ 国際情勢と日本 (仮題)

愛知県出身。早稲田大法学部を中退し、1977年外務省入省。条約課長、アジア大洋州局長、外務省議員、次官などを経て、2018～21年に駐米大使。トランプ政権下のワシントンで緊密な人脈を築き、日米関係を強固なものとした。ロシアによるウクライナ侵略が長期化し、中国や北朝鮮の脅威も増している。24年度に大統領選を控える米国の動きも注目される。混迷の度を深める国際情勢を外交のプロがどう読み解くのか。企業の事業戦略を練るうえで、大きなヒントになるだろう。